

自ら学び続ける教職員を目指して

教育研究所は、自己キャリア育成を目指し、主体的・意欲的に自ら学び続ける教職員をサポートします。自己キャリア育成のためには、教職員人生全体を通して目指す教職員像やそれに近づく過程をキャリアデザインとして描き、キャリアステージごとに求められる資質・能力に対して、今の自分の姿を知り、把握・計画・実行・評価・改善を繰り返しながら、必要な資質・能力を身に付けることが重要です。

教育研究所の教職員研修では、「道しるべ」となる教員等のキャリアステージに応じて身に付けるべき資質・能力を示した「奈良県教職員の資質向上に関する指標」に対応するように研修を実施しています。

R Step① 自己の現状把握と分析

把握

●指標に示されている自己のキャリアステージで求められる資質・能力について、自己の現状を確認し、自己分析を行う。

奈良県が求める教職員像

- ・使命感や情熱にあふれ、愛情をもって児童生徒との信頼関係が築ける人
- ・豊かな人間性をもち、深い専門知識に裏付けられた実践的な指導ができる人
- ・奈良の伝統、文化を理解し、地域と社会的絆の中で子どもを育てられる人

自分のステージは基礎形成期だから基礎的指導力の向上が求められている。授業力は身に付いてきたけれど、生徒指導力に課題があるので研修でスキルアップを目指そう。

キャリアステージ	ステージ1	ステージ2
	基礎形成期	基礎定着期
資質能力	○基礎的指導力の向上	○実践的指導力の向上
ひと教員として	人間力 教職員としての「素養」は年齢・経験等に関係なく誰にも身に付けておくべき	人間力 教職員としての「素養」は年齢・経験等に関係なく誰にも身に付けておくべき
授業力	構想	授業の構想・関心や知識・技能の準備 授業の構想・関心や知識・技能の準備
	実践	主体的・対話的で深い学びの視点 授業の準備・実践・評価・改善 主体的・対話的で深い学びの視点 授業の準備・実践・評価・改善
	評価・改善	授業実践に授業のねらいを示す 授業実践に授業のねらいを示す 授業実践に授業のねらいを示す 授業実践に授業のねらいを示す
	研究	授業実践の改善に取り組むこと 授業実践の改善に取り組むこと 授業実践の改善に取り組むこと 授業実践の改善に取り組むこと
生徒指導力	情報活用	自分の研究授業等に活用できる 自分の研究授業等に活用できる
	F 実態把握	授業実践の改善や学びの視点から 授業実践の改善や学びの視点から 授業実践の改善や学びの視点から 授業実践の改善や学びの視点から

経験年数や年齢で一律に区分せず、各ステージの分野・項目・内容を確認して自分がどのステージに当てはまるか判断します。

P Step② 研修計画の立案

計画

●自己の課題を明確にして、研修講座の目的や必要な資質・能力を理解して、キャリアプランを立案する。

日時	6月22日 (木) 14:00~16:00	8月10日 (木) 9:00~12:00	対象	学
場所	【遠隔研修】			
指標	ステージ 伸長期、充実期	分野 学校運営・マネジメント力	項目 企画運営調整・組織マネジメント	

自分の課題に即した研修講座を申し込もう。

D Step③ 主体的・意欲的な研修

実行

●研修講座の目的や自己の課題を確認し、必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む。



C Step④ 研修の振り返り

評価

●研修を振り返り、自己評価を行い、研修の成果と課題、今後の課題を整理する。



A Step⑤ さらに研修への見通し

改善

●整理した今後の課題を踏まえ、自己のキャリアステージに応じて、さらなる資質・能力の向上を目指す。

改正教育公務員特例法により、令和5年4月1日から研修受講履歴の記録が必要となりました。

奈良県教職員の資質向上に関する指標の見方・活用について

平成29年4月1日に施行された教育公務員特例法等の一部を改正する法律に基づき、奈良県では、「奈良県教員等の資質向上に関する指標」を策定しました。本指標の策定においては、教員等の資質向上を担う任命権者と教員養成を担う大学等の共通認識の下、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確にすることを、その趣旨としています。

【指標の見方】

キャリアステージに応じて、把握・計画・実行・評価・改善を繰り返しながら、必要な資質・能力を身に付ける

(例) 教員の資質向上に関する指標

奈良県教育の目指す方向性を示した「奈良県教育振興大綱」、大綱で示された「教育施策の基本方針」に基づいて作成された「奈良の学び推進プラン」を踏まえ、指標を策定しています。

横軸には、教員養成段階スタート時から充実期までの「キャリアステージ」を示しています。

- ①基礎形成期は、初任校在任期間
- ②基礎定着期は、中堅教諭等資質向上研修を終えるまでの期間
- ③伸長期は、学年や分掌の中心的な役割を果たし、授業・学校経営のモデルを示すことが期待される期間
- ④充実期は、教員集団の中心として、リーダーシップを発揮して、学校経営等に参画する力を付けていることが望まれる期間

キャリアステージはあくまでも自己のキャリアに応じた目安として設定しています。

縦軸には、教職員として付けたい「資質・能力」を示しています。

分野として、教員としての素養、授業力、生徒指導力、マネジメント力の4つに分け、さらにその分野を分類し、15項目に整理しています。

各ステージの修了までに身に付けたい資質・能力を目標として示しています。

基本理念 本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」を生きる力に育てる	教育目標 このふたつを子どもたちの成長に育むには 学ぶ力、考える力、探求する力を育てる 働く喜びを育む力を育てる	基本理念 一人ひとりの「学ぶ力」を生きる力に育てる	奈良県教員の資質向上に関する指標			
			基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教員等としての素養	人間力	豊かな人間性を社会性、職業性をとし、良好な人間関係を構築する力を養っている				
	情熱	教育活動に情熱を注ぎ、子どもたちの成長を喜び、自己研鑽を続ける意欲を有している				
	謙虚	謙虚な姿勢で、自己研鑽を続け、自己研鑽を続ける意欲を有している				
	研究	教育活動に情熱を注ぎ、子どもたちの成長を喜び、自己研鑽を続ける意欲を有している				
授業力	計画・指導	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
	研究	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
	研究	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
生徒指導力	指導	子どもの言動や心の動き等から向き合い、見つめる「実態把握」、実際に問題行動等に対応する「指導」、困り感やつまづき等に寄り添う配慮について特記した「特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援」、生徒指導力に関わる効果的な指導を生み出す「関係機関等との連携」の4つの項目に分けて整理しています。				
	指導	子どもの言動や心の動き等から向き合い、見つめる「実態把握」、実際に問題行動等に対応する「指導」、困り感やつまづき等に寄り添う配慮について特記した「特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援」、生徒指導力に関わる効果的な指導を生み出す「関係機関等との連携」の4つの項目に分けて整理しています。				
マネジメント力	組織管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				
	危機管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				
	危機管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				

※ 育成指標の種類は、職の専門性を考慮して「校長」「副校長・教頭」「教員」「養護教諭等」「栄養教諭等」「学校事務職員」の6つの指標を策定し、「幼稚園教員等」の指標モデルを示しています。職種に応じて求められる資質・能力(分野・項目)を示しています。

【指標の活用】

教職員としての活用方法

- ①各ステージにおける教職員として求められる姿の把握
- ②定期的な自己評価と自身の状況の明確化
- ③自身の課題改善やさらに高度な段階を目指す取組の実践
(OJT、自主研修、校内研修、法定研修及び校外研修等)

※ RPDC サイクルに基づき資質・能力の向上を目指す。

管理職としての活用方法

- ①OJTにおける指導助言
- ②目標管理の面談等
- ③校内研修の推進
- ④校内における初任者研修等の指導
- ⑤教育研究所等の校外研修の奨励

校内研修での活用例

活用例①初任者研修等
校内における研修で目指すべき姿として活用する。

活用例②研究授業
研究授業において、経験年数に応じた指導力の目標を研究主任や授業者が設定する等、授業改善の視点として活用する。

活用例④授業改善・学校運営
教育活動や学校運営について設定した目標や教科で作成したシラバス等と指標とを照らし合わせ、自らの経験年数に求められる資質・能力を確認するとともに教諭としての成長目標を設定する。組織における自己の役割を考えて、組織の改善につなげていく。

活用例③学年経営・学級経営・教科指導
学年経営や学級経営、教科指導等の部会において、各課題を解決する上での取組とともに、必要となる資質・能力を高めるために、先輩教員から若手教員に自身の経験を語り伝える際の視点として活用する。

基本理念 本人のための教育 一人ひとりの「学ぶ力」を生きる力に育てる	教育目標 このふたつを子どもたちの成長に育むには 学ぶ力、考える力、探求する力を育てる 働く喜びを育む力を育てる	基本理念 一人ひとりの「学ぶ力」を生きる力に育てる	奈良県教員の資質向上に関する指標			
			基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教員等としての素養	人間力	豊かな人間性を社会性、職業性をとし、良好な人間関係を構築する力を養っている				
	情熱	教育活動に情熱を注ぎ、子どもたちの成長を喜び、自己研鑽を続ける意欲を有している				
	謙虚	謙虚な姿勢で、自己研鑽を続け、自己研鑽を続ける意欲を有している				
	研究	教育活動に情熱を注ぎ、子どもたちの成長を喜び、自己研鑽を続ける意欲を有している				
授業力	計画・指導	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
	研究	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
	研究	子どもの実態を把握して授業等を計画する「構想」、実際に子どもに確かな学力を身に付けさせるための「実践」、自他の授業について振り返り、見直しを進めていく「評価・改善」、授業研究の力と専門性の向上を図る「研究」、ICT活用を通して教育の情報化を進める「情報活用」、という5つの項目に分けて整理しています。				
生徒指導力	指導	子どもの言動や心の動き等から向き合い、見つめる「実態把握」、実際に問題行動等に対応する「指導」、困り感やつまづき等に寄り添う配慮について特記した「特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援」、生徒指導力に関わる効果的な指導を生み出す「関係機関等との連携」の4つの項目に分けて整理しています。				
	指導	子どもの言動や心の動き等から向き合い、見つめる「実態把握」、実際に問題行動等に対応する「指導」、困り感やつまづき等に寄り添う配慮について特記した「特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援」、生徒指導力に関わる効果的な指導を生み出す「関係機関等との連携」の4つの項目に分けて整理しています。				
マネジメント力	組織管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				
	危機管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				
	危機管理	「マネジメント力」は、学級経営や学校運営、教育課程の編成・改善等に関する「組織マネジメント(学級経営・学校運営)、カリキュラム・マネジメント」、学校安全に関する「危機管理」、学校外を巻き込んだマネジメントに関する「家庭・地域等との連携・協働」、教員の成長や協働性に関する「人材育成、職能成長」の4つの項目に分けて整理しています。				